

【特別支援教育】 年度末！ そろそろみんなでやっておきたい あれこれ

3学期も折り返し。年度末に向け、どの学級でも1年間のまとめや振り返りが行われていることと思います。また、通知表や指導要録の作成準備も始まっているのではないのでしょうか。

教育的ニーズのある子どもたちが安心して学校生活を送るために、進級や進学時における支援内容の引き継ぎはとても重要です。慌ただしい時期ではありますが、子どもも教師も来年度のスタートがスムーズに迎えられるよう、本年度中にやっておくべきことを、レオ先生と一緒に再確認していきましょう。



まずは、**指導要録**について教えてください。

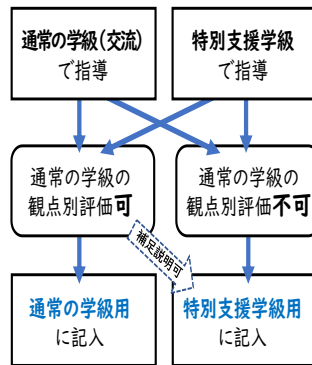
学習指導要領の改訂に伴って、特別支援学級や通級による指導を受けている児童生徒の要録記入について留意点があるとか…。

詳細は、これで確認!!

指導要録記入の手引
 令和2年2月
 福井県教育庁義務教育課
 小学校校編・P48・49
 中学校校編・P46・47

まず、**特別支援学級在籍児童生徒の指導要録**についてですが、「指導に関する記録」については、**通常の学級用と特別支援学級用の両方を使用した記入**が必要になります。つまり、指導に関する記録の様式は、1人につき2枚作成しなくてはならない、ということです。

また、知的学級の生活単元学習や作業学習といった「各教科等を合わせた指導」の評価は、活動を通して習得した教科等の内容について、**該当する教科等の欄**に記入することとなりました。要録には「生活単元学習」といった「各教科等を合わせた指導」の評価欄はつくりないようにしてくださいね。



参考してください!



次に、**通級による指導を受けている児童生徒の指導要録**についてですが、児童生徒の成長の状況を総合的にとらえるため、指導に関する記録の「**総合所見及び指導上参考となる諸事項**」の欄に、**通級による指導の授業時数、指導期間、指導内容及結果等**を記入することとなっています。

また、通級による指導の評価は、個別の指導計画等にも記入しましょうね。



そうか! 年度末には、**個別の教育支援計画・指導計画の評価**も必要でしたね!!

参考してください!



さすが、レオ先生!!

特別支援学級在籍児童生徒や通級による指導を受けている児童生徒の評価記入はもちろん、**簡易版で作成している通常学級在籍児童生徒の評価**も忘れずに行ってください。

また、3学期は保護者会がありませんから、計画的に**支援会議を開催**しましょう。保護者と共に1年間を振り返り、来年度についての方向性が話し合えるといいですね。

シートに確認の印鑑を押してもらうことも、お忘れなく!



特コの先生と相談しながら、まずは、支援会議の日程を調整せねば…。

卒業生については、次の学校への引き継ぎもしなければなりませんよね?

そうです! 次の学校への移行支援、とても重要です!!

教育的ニーズのある子については、保小連絡会や小中連絡会の場で引き継ぎが行われると思いますが、時間も限られますし、口頭での引き継ぎになることが多いのではないのでしょうか。できれば…。





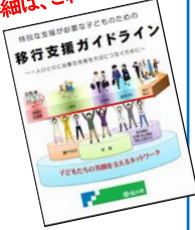
できれば・・・どうするといいいんですか??



移行支援会議が開催できるとベストですね!

その際、個別の教育支援計画・指導計画が作成済みの児童生徒の場合は、書面とともに引き継ぎを実施します。もちろん、事前に保護者の同意は取っておいてくださいね。

詳細は、これで確認!!



移行支援会議には、できるだけ複数のメンバーで参加するようにしましょう。

送り側も受け入れ側も、特コや担任、教務主任、学年主任等が複数で参加し、情報共有を確実にしています。異動で次年度に引き継がれなかった、なんてことがあったら大変ですからね。

ちなみに、個別の教育支援計画・指導計画等、引き継ぎ文書の保管場所についても、学校の誰もが分かるように共通理解しておいてください。

また、可能であれば、保護者にも同席していただきましょう。進学先の学校と保護者の連携がスムーズにすすみますよ! 保護者も、前の学校の先生方と一緒になら安心ですしね。

・・・とはいえ、コロナ禍の今、顔を突き合わせての移行支援会議は難しいかもしれません。**オンライン開催**等の工夫をぜひお願いします。保護者の希望があったのに引き継ぎがなされていなかった、書面だけの引き継ぎで内容が伝わっていなかった、とならないように気をつけましょうね。



なるほど。移行支援会議・・・学校間だけでなく、担任が変わったり異動になったりする時にも必要ですね。

教育的ニーズのある子どもたちのなかには、担任の先生が変わっただけでも大きな不安を感じる子がいます。そのうえ、担任の先生の指示の仕方が前の先生と違えば、大混乱につながることもあります。**前担任が行っていた配慮事項や具体的な支援内容等**について、ぜひ、引き継ぎをお願いします。

校内支援委員会の場を活用して、管理職や特コの先生とも共通理解できると、なおよし! です。あわせて、来年度、教育(就学)支援委員会に諮る必要があるかも・・・というお子さんをピックアップしておく、4月からの就学相談もスムーズにすすみます。

また、**特別支援学級在籍の6年生**については、夏の教育(就学)支援委員会で、学びの場を検討する必要があります。ですから、**5年生の今のうちから、準備を始めること**をお勧めします。中学校での学びの場について、検査結果も踏まえながら保護者と早目に相談できるといいですよ。



年度末までにやるべきことが、クリアになった気がします。できるところから、計画的にすすめていこうと思います

学習指導要領には、「**計画的、組織的**」ということばがたくさん使われていますが、特別支援教育においても、重要なキーワードです。今回お話したことは、手間や時間のかかることではありますが、「**切れ目のない支援**」を行うために大切な仕事です。計画的に、かつ、全教職員共通理解のもと組織的に、取り組んでいただきたいと思います!



特コの先生にまかせっきりじゃダメですね。ううっ、がんばります!

さらに学び続ける教師レオ先生であった。

お! なにかはじまるの?



特別支援教育を
話題に
交流しませんか?

詳細は
別紙にて



【参考】 各校に配布されているものをご参考に!

また、福井県特別支援教育センターや福井県のHPからDLも可能です。

- 指導要録記入の手引 (令和2年2月)
- 特別支援学級・通級による指導に関する手引き (令和2年度改訂 第3版)
- 子育てファイルふくいっ子 (平成26年7月改訂版)
- 特別な支援が必要な子どものための移行支援ガイドライン (平成25年3月刊行)



オンラインによるミニ研修会「R(嶺南)-cafe」は、「嶺南ふるさと学習推進プロジェクト」として、今年度3回設定しました。参加者からは好評を得ており、それぞれの学校における実践や先生方の思いを相互に「知る」、そして、自校や自分の実践に生かすきっかけとなる良い交流の場となりました。

他の話題でも「R-cafe」を実施してほしいという先生方のニーズを受け、相互交流の場として開催できることになりました。第1弾は、特別支援教育に関する「R-cafe」です。

対象者

特別支援教育に関心のある方ならどなたでも!

(教員・行政職員・保育士・福祉関係者…等々)

方法

オンライン (Zoom)

*参加申込は不要です

内容

- 特支課発行 STEP の内容を話題として情報交換を行う。
- 日頃の悩み (授業づくり、学級づくり、校内支援体制等) を語り合う。

3月4日 (金) 15:30~16:30

(16:30~16:45 フリートーク)

【特別支援教育】

年度末! そろそろみんなで
やっておきたい あれこれ

今回は、指導要録作成の実際、個別の教育支援計画・指導計画の評価、移行支援会議のもちかた等をテーマに交流したいと思います。先生方同士での情報共有の場として、課員への質問の場として、お気軽にご参加ください。もちろん、日々のお悩みやこの機会に聞いてみたいこと等も、なんでもお話してください。



途中入室・途中退室 OK!

飲み物片手に、リラックスしてご参加ください。

* 特学担任や特コ先生はもちろん、教務の先生、管理職の先生…たくさんの先生方のご参加をお待ちしています。行政職員、保育士さん、福祉関係の方々もぜひ情報共有しましょう!

問い合わせ先 : 嶺南教育事務所 特別支援教育課